

第37回テニス日本リーグ  
ファーストステージ感染防止対策について

JTA実業団委員会

●観戦者の方へ

- \* 観戦の際は、入場口での検温と手指消毒を必ず行ってください。
- \* 以下の項目に該当する場合は、入場をお断りいたします。
  - ① 体調がよくない場合（検温で37.5℃以上ある・咳・咽頭痛などの症状がある場合）。
  - ② 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
  - ③ 過去 7 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
- \* 会場内ではマスクを必ず着用してください。
- \* こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施してください。
- \* 各会場のゾーニングに従い、選手やスタッフと極力接触をしないこと。
- \* 他の観戦者との距離を確保してください。 間隔2mが目安です。
- \* 大きな声での会話や応援等をしないでください。
- \* 飲食を含むゴミは、必ず持ち帰ってください。
- \* 飲食は周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにしてください。

●選手チーム関係者・役員・運営スタッフの入場（HeaLo受付）について

会場への来場には、日本テニス協会「健康情報管理システム HeaLo」登録利用が必要となりますので別紙案内に沿ってご運用ください。入場の際は、HeaLoの受付チェックを必ず行ってください。横浜国際プール会場とBBD会場の入場受付場所は、別紙案内図をご確認ください。

●チーム責任者は、チームの来場日毎に「参加チーム用 体調管理チェックシート」を入口で必ず提出してください。来場する選手帯同者全員の体調をチェックシート項目にて管理してください。当日の体温が37.5℃以上ある選手・帯同者は、接触せずに帰還させてください。Healo項目クリアができない方は入場できません。来場の際に毎回必要です。

- 会場での注意事項は、上記の「ご観戦について」の\*項目と同様です。
- 競技中における対策は別途監督会議等での指示に従ってください。
- チームで宿泊の際は、会場地域の行政の感染対策に従って極力自粛してください。
- 大会終了後5日間以内に、発熱があった選手関係者はチームの責任者を通して実業団事務局へ報告をして下さい。

JTAガイドライン <https://www.jta-tennis.or.jp/information/tabid/736/Default.aspx>  
を基に運用いたします。今後の状況によりましては上記内容に変更が必要になる場合がございますが、各チームのご協力を宜しくお願い致します。